

開講科目名 / Course	健康支援概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期、3 学期 / Second,Third	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	川南 公代	
担当教員名 / Instructor	小野 治子、川南 公代、首藤 佐織、高木 優衣	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	健康や健康に対する考え方および健康増進の意義を理解し、健康づくりの重要性を学ぶ。さらに、様々な人々の健康ニーズを理解し、健康増進における看護職の役割を学ぶ。	
到達目標	1. 健康および健康増進の意義や考え方について、説明できる。 2. 健康増進における看護職の役割について、説明できる。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探究心と創造力	
授業計画	01. 健康とは（健康の定義・障害の定義） 02. わが国の健康状態 / ライフサイクルと疾病構造 03. わが国の健康づくりの変遷 04. 健康づくり各論（栄養・食生活、身体活動・運動） 05. 健康づくり各論（休養、喫煙、飲酒） 06. みんなの健康をまもる公衆衛生 07. 私たちが考える健康づくり 08. 私たちが考える健康づくり / 健康支援と看護職の役割	
その他の授業の工夫	講義のなかで、グループワークを通して意見交換や発表等を実施する。	
時間外学修	事前学修：次回の学習内容や配布資料、テキスト、参考書を用いて予習する（7h）。 事後学修：毎回の講義を振り返り学びをまとめる。配布資料やテキスト、参考書を用いて復習する（15h）。	
評価方法と評価割合	試験：80%（試験の受験資格は、出席が6回以上であること） 提出物：20%（初回の講義内でのオリエンテーション時に説明する内容に、各回の講義終了後に取り組む）	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 健康支援と社会保障制度2（医学書院）	
参考書	系統看護学講座 専門分野 看護学概論 基礎看護学1（医学書院）	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	川南公代：行政の保健師 小野治子：高等学校・支援学校の養護教諭 首藤佐織：行政の保健師 高木優衣：行政の保健師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	県福祉保健部の医師、保健師
実務経験をいかした教育内容	行政機関等で看護職として実践してきた経験をもとに、講義する。	